

令和元年度

## 【1】

題名	お父さんの仕事を通して私が感じたこと
本人氏名	曾根 希愛（そね のあ）
性別	女
年齢	17
候補者との続柄	子
<p>わたしのお父さんの仕事は、山の斜面が崩れないように保護することです。わたしは具体的にお父さんがどんな仕事をしているのか知りませんでした。けど、この作文を書くことと決まって具体的に仕事内容やその仕事の大変さ、大切さを身近に感じることができました。こう感じた理由は、お父さんの仕事は、とても大変でしんどいし、身体的に辛い仕事だけど、その仕事がないと私たちは快適に過ごせることができていないと思ったからです。もし、お父さんのような仕事を誰もしなかったら、山を保護する人が居ないし、とてもその周辺で生活するのは難しいと思います。けど、私たちが不自由なく、災害が起きても今まで通りに生活が出来るのは、お父さんのような仕事をしている人が私たちの裏でがんばっているからだと思います。まだまだ日本は災害も多いし、環境が悪く、生活しづらい人がたくさんいると思います。今、私たちが地震や台風が来て、山で土砂災害が起きても不自由なく過ごせていることは当たり前じゃないと思うし、この気持ちを大切に持ち過ごしていきたいです。そして、お父さんのような仕事をしている全ての人に感謝の気持ちを忘れずに日々生活していきたいです。この作文を通して、私もこんなやりがいのある仕事につきたいと思ったし、とてもお父さんの仕事を誇りに感じました。</p>	

## 【2】

題名	父さんの仕事
本人氏名	下井 せら（しらい せら）
性別	女
年齢	13
候補者との続柄	子
<p>私がいつも見ている父さんは、まさにぐうたら父さんです。私はこの姿を見て父さんが仕事をしている姿は想像できません。けれど父さんの仕事は何をしているのか気になって聞いてみたら、こう言ってくれました。「旅行とか、車で遠くへ行く時に高速道路や田舎道を通るやろ、その時に道沿いにある崖の土砂崩れの防止、つまり人の命や財産も守ってるんやで。」それを聞いて私はびっくりしました。ただ単に仕事をしているだけじゃなくて、人の命や財産も守っているし、土砂崩れの防止もしていることを聞きました。それに私が学校での林間学校に行った時、たまたま父さんの仕事場に近くて、車で10分ほどでいける所で仕事をしていて私はびっくりしました。私は泊まりで父さんは日帰りですごいなあと思いました。ほかにもずっと遠い場所で仕事をして、朝早くにでかけてその日のうちに家に帰ってきます。そして、夜ごはんの時にいろんな話をしてくれます。そんな大変な仕事をしていても、時々家のドアとか物が壊れた時は修理もしてくれます。だから日曜日は、ぐうたら父さんになってしまうんだなと思いました。</p>	

## 【3】

題名	私のおじさん
本人氏名	安藤 瑠奈 (あんど う るな)
性別	女
年齢	16
候補者との続柄	姪
<p>私のおじさんは、土木の仕事をしています。橋を支えている部分を造っているそうです。</p> <p>おじさんと仕事の話をしたことはあまりありませんが、幼い頃両親とドライブをしているときに、この橋はおじさんが造ったんだよと教えられ、ワクワクしたのを覚えています。</p> <p>つい最近も、ある地元の情報番組の視聴者投稿コーナーで、地域の人が近所の橋が完成したと嬉しそうなコメントを添えて投稿しているのをみました。おじさんが造った橋が地域を喜ばせているのを実際に目の当たりにして、とても誇らしい気持ちになりました。</p> <p>私もおじさんのように人を喜ばせることのできる仕事をしたいなと思いました。</p> <p>これからも怪我をしないよう、体に気をつけながら頑張っで欲しいです。</p>	

## 【4】

題名	地球の彫刻家
本人氏名	高橋 賢哉（たかはし けんや）
性別	男
年齢	18
候補者との続柄	甥
<p>ある朝、いつものようにスマホのアラームで目覚める。窓の外を覗くと、そこには一面真っ白な世界が広がっている。</p> <p>すごく静かな景色の中、雪が深々と降り続けている。</p> <p>そう、私の住んでいる十日町地域は、日本でも有数の豪雪地帯だ。</p> <p>半端ない雪の多さだ！</p> <p>一晩で、数十センチ積もることも珍しくない。</p> <p>私は、布団の中で次の行動を起こさなければと暫く考えた挙げ句、覚悟を決め布団に別れを告げた。学校に行くための身支度を始めるためである。</p> <p>外に出ると、周りにはものすごい雪の量だが、道路や歩道の雪はきれいに融け、車の通行や人の歩行にはほとんど支障がなかった。そんなギャップに気づきつつもごく当たり前の日常を過ごしていた。</p> <p>そんなある日、通学のバスの中から道路の消雪パイプの工事現場を観て、金沢にいる叔父の事を思い出した。叔父は、消雪パイプとその水源を確保するための井戸、歩道の融雪工事の設計や現場管理に携わっている。</p> <p>道路一面をほとんど残すところなく均一に雪を融かしていく。考えればすごい技術だ！</p> <p>特に感謝することもなく日常を過ごしてきたが、改めて考えるとその技術が私たちの生活を便利なものに進化させていることに気づく。</p> <p>何かの本に書いてあったが、建設業の方々は「地球の彫刻家だ！」というフレーズを思い出した。</p> <p>井戸を掘り、ダムを造り道を切り開き、私たちの生活を改善してくれる。また、山や河川を補強し防波堤を建設し、自然災害から私たちを守ってくれる。まさに叔父たち建設業に携わる方々は「地球の彫刻家」であり、ヒーローだ！</p> <p>友達が「すげーな！この道全然ゆきないぜ！都会だったら5センチも雪が降れば大騒ぎなのに、ここは1メートル降ってもビクともしなぜ！」と興奮する。そんな時心の中で「俺の叔父さんたちがやった仕事だよ！」と、ちょっぴり優越感に浸るのである。</p>	

## 【5】

題名	僕の父の仕事
本人氏名	沖田 潤（おきた じゅん）
性別	男
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>僕の父は建設現場で現場管理者として働いています。</p> <p>現場管理は「何をしているの」と聞くと、父は「簡単に言うと現場監督だよ」と答えてくれた。「現場監督だったら、命令していればいだけで楽な仕事だね」と聞くと、「命令とかしていないよ、現場で作業をする人達へ、安全に作業する為には、工期内に終わるには、良い製品を造るには、どの様にすればいいかを考えていく事と、造った物の詳細を書類に残し、お客様に報告することが自分の仕事だ」と答えてくれました。それを聞いても、よく理解できませんでした。</p> <p>家では仕事のことは、ほとんど話をしません、毎日朝早くに家を出て帰日も遅く帰ってきます。時には日曜日でも現場に行くと言って出かけます。</p> <p>父に「なんで現場に行くの」と聞くと、「今日は雨が降るから現場の水を見に行く」とか、「風が強くなるから現場の材料が飛んでいかないか見に行く」と言って出かけます。</p> <p>そんな父を見て大変だと思い、責任のある仕事をしていると思いました。</p> <p>ある日、父が忘れ物をして、母と一緒に届けにいった時、現場は大きく、見た事のない機械があり、父は機械の運転手と作業員の人達と話し合いをしていました、額には汗を浮かべ、父がキリッとした真剣な表情を見て、これが父の仕事か、普段は家でゴロゴロしているイメージが全くなく、その背中では大きく、たくましくも見えました。これが父の仕事、はじめて知り、大変な事をしていると、少し感動しました。</p> <p>そんな、頑張っている父を僕は尊敬し、いつかは父のようになりたいと思いました。</p>	

## 【6】

題名	建物技術者の父親の働き
本人氏名	高橋 二葉 (たかはし ふたば)
性別	女
年齢	18
候補者との続柄	子
<p>私の父親の仕事を詳しく知ったのは中学生の時でした。授業の課題で仕事内容を詳しく聞く機会がありました。最初は建設関係までしか分からなく詳しく聞いてみると実際に時間がある時に現場や会社に連れて行ってもらいました。会社には沢山のトラック、さまざまな機械があり、自分にとって生まれて初めての光景でした。</p> <p>詳しく教えてもらう中で様々な資格がある事、杭打ちの話が一番印象に残りました。</p> <p>父親は溶接という資格を持っています。溶接は鉄を溶かすので危険も伴います。実際に溶接している父親の姿を見る機会がありました、とても危険で火傷しそうでした。</p> <p>ある時、父親から「この家の杭打ちお父さんの会社が担当した」と聞いたことがあります。その家にはご家族が住んでいました。最初は杭打ちも分からなくてそんなに必要な事なのか疑問に思いました。杭打ちとは家を建てるうえで災害時に家が崩れたり揺れたりしないように杭を打って安定させるととても大事な仕事でした。杭を打たない家は災害時には倒壊してしまう可能性も出てくるので父親の仕事はとても大事な事でした。</p> <p>建設技術者の父親の仕事は社会、人の為に必要な仕事で建てる前の杭打ちをするだけでも住む人の安全や災害の安全も確保できる素晴らしい仕事だと私は思います。普段と違った父親の姿がとてもカッコいいです。会社で表彰されたと聞いた時はとても嬉しかったです。建設技術者という言葉はあまり知られていないですが社会や人の為にとても必要不可欠な素晴らしい仕事だと私は思いました。</p>	

## 【7】

題名	お父さんのえがお
本人氏名	滝口 結月（たきぐち ゆづき）
性別	女
年齢	8
候補者との続柄	子
<p>『結月、ただいま』</p> <p>今日もお父さんは、わたし、弟、お母さん、一人一人にえがおで言います。『いつも帰ってきた時うれしそう』とわたしが言うと、『今日もみんなが一日、あんぜんにおしごとできたからね』と言いました。あんぜんなんて、当たり前じゃないのかなと思っていたけど、お父さんのしごとは、いつでもきけんなことがあっておかしくないそうです。いろんなしゅるいのきかいや車、天気、石などきけんなことがおこるげんいんは、いっぱいあると聞いてびっくりしました。お父さんは、みんなを見まもるのが、一番だいじだとも言いました。だから、ぶじに一日おわって帰ってきたら、うれしくて、ついえがおになるのかなと思いました。</p> <p>わたしが六才のころ、お父さんがしごとをした道ろにつれて行ってくれました。そこでただの山のしゃしんを見せて、『これが元のけしきだよ』と言いました。その時、その場しょは、たくさん車が走っていたので、とてもふしぎでした。今はわたしたちがあんしんして、あんぜんにくらせるようにという、お父さんやいっしょに作った人の気もちが分かります。</p> <p>これからは、お父さんにまけないくらい、大きな声で、えがおで、『おかえりなさい』と言おうと思いました。</p>	



## 【8】

題名	私から見たお父さんの仕事
本人氏名	亀甲 凜 (かめこう りん)
性別	女
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは、高校卒業後、叔父にタイル工事を手元見習いとして、働き、技術を習得しながら、子供3人を厳しい収入の中、朝早くから夜遅くまでタイル見習いとして真面目に仕事を頑張ってくれました。</p> <p>仕事で、帰りの遅い時や、離島に出張の時は、叔母さんに面倒をみてもらいながら、父は仕事に専念し早く技術を習得しようと、家族に疲れた顔も見せず、叔父からタイル技術を一生懸命に教わりました。</p> <p>平成20年4月、1回目のタイル技能検定に受験しましたが、不合格でした。それにもめげず2度目の挑戦で見事、一級タイル技能検定に合格することが出来ました。</p> <p>翌年には、公共工事、米軍工事等の職長として、後輩の手元見習いを育てながら、職人育成にも尽力し、タイル工事に誇りを持ち、私たち家族を支えてくれました。</p> <p>私は、現在高校1年生で、長男は、社会人として働いております。</p> <p>次男は、今年3月に高校卒業します。</p> <p>私たち兄弟は、今になって父の苦労が分かるようになりました。</p> <p>父は、現場近くを車で通るときは、自慢げに、「タイル工事はお父さんが施工したのだよ」と話してくれます。</p> <p>これからも、父は、タイル技術者として、誇りを持ち、後輩を育てながら、安全第一に、いつまでも健康に気を付け、元気で仕事を続けて欲しいと思います。</p> <p>また、私も勉強を頑張ってお父さんみたいな、働き者で立派な社会人になるよう努力し、これからも、ずっと親を大切に、親孝行をしたいと思っています。</p>	

## 【9】

題名	ぼくのお父さん
本人氏名	鈴木 謙汰（すずき けんた）
性別	男
年齢	9
候補者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんは、工事げんばで保温屋さんのお仕事をしています。</p> <p>水道水やお湯など、なにげなく使っているけど、おとうさんが黄色いチクチクする材料をまきつけてくれるから、お湯はあたたかいまま使えたり冬になれば水道管が凍ってしまうのも凍らなくしてくれるのがお父さんの仕事です。</p> <p>ぼくが2才くらいの時に、すごく大きな地しんがきて、いっぱい家とかこわれて、ぼくの通うことになっていた小学校もこわれてしまいました。</p> <p>でも今は新しい小学校をお父さんたちが工事してくれて、とてもきれいな校舎ができました。</p> <p>そのおかげで毎日元気に通学できてぼくはとてもうれしいです。</p> <p>お父さんはぼくがおきる時は、もう会社に行っていてなくて、夜ねるころにかえってきます。</p> <p>そんないつも家族のためにがんばってくれているお父さんが大好きです。</p> <p>ぼくは4人兄弟の長男なので、大きくなったらお父さんといっしょにお仕事したいと思っています。</p>	

## 【10】

題名	尊敬できるお父さん
本人氏名	①田中 光一（たなか こういち）②田中 和也（たなか かずや）
性別	男
年齢	①18②15
候補者との続柄	子
<p>お父さんは仕事に対しては大変、責任感があり、人一倍の努力家だと思っています。一つ一つの職務を卒なくこなし、一所懸命に仕事に励んでいる、そんな姿がかっこいいです。</p> <p>しかし、一方、休暇となれば仕事のごとは一切離れて、僕たちと遊んでくれたり、時には勉強を教えてくれたり、家族と一緒にいる時間を大切にしてくれます。</p> <p>仕事と娯楽に抑揚さがあり、僕もこういう大人になりたいなと思いました。</p> <p>お父さんは高卒という立場から入社し、ここまで駆け上がってきました。</p> <p>いろんな人から、叱責をうけながらも、並大抵ではない努力を惜しまず、強い自尊心を持って戦ってきたからこそ、こういう賞を頂けるのだと思います。</p> <p>大卒に比べて学歴で劣っていても、大卒に負けない能力を身につけ、ここまで上り詰めたお父さんはすごがかっこいいです。</p> <p>こういう姿を見ていると、僕たち2人も頑張らなきゃいけないなと思いました。</p> <p>家族を支えなければならないという重圧をかかえながら仕事をしているお父さんに比べると、学校での学習なんか嫌がってはいけないと思うこともあり、いつもお父さんには励ましてもらっています。</p> <p>僕たちも後々、こういうものを背負っていかなければならないのだと思うと少し心配ですが、僕たちには尊敬できるお父さんがいるので、その背中を追っていこうと思います。</p> <p>そして僕たち2人も、このような業績を残せるように、日々精進していきたいです。</p>	

## 【 1 1 】

題名	私の自慢のおじさん
本人氏名	相澤 夏姫(あいざわ なつき)
性別	女
年齢	12
候補者との続柄	姪
<p>私のおじさんは、鉄筋の仕事をしています。</p> <p>鉄筋の仕事をしていることは、幼い頃、いっしょに暮らしていたので、知っていました。今は、別々に暮らしていますが、ちょくちょく遊びに来てくれます。私の知っているおじさんは、とても優しく、私たちのことを一番に考えてくれて、私たちの将来のことをよく考えて、応えんしてくれています。</p> <p>私は、おじさんが働いている姿を、見たことがありません。しかし、おじさんが時々仕事の話をしてくれるときがあり、その話を聞く限りでは、高い所や深い所まで行って、鉄の長い棒を組立てる。そして、夏の暑い日での作業や冬の寒い日での作業なので、楽な仕事ではないと感じました。そんな仕事でも、毎日仕事に行くおじさんをすごいと思います。</p> <p>私は、おじさんに恩がたくさんあるので、将来立派な大人になって、おじさんに恩返しができるようになりたいです。そして、私が大好きなおじさんには、長生きして、幸せでいて欲しいです。</p>	

## 【12】

題名	お父さんの仕事
本人氏名	田村 陽平 (たむら ようへい)
性別	男
年齢	17
候補者との続柄	子

私のお父さんは造園業の仕事をしています。木を植えたり、芝を張ったり、階段を作ったりして公園をつくっています。実際の仕事をしているところは見たことがありませんが、小さい頃は休みの日に姉と一緒に、お父さんがつくった公園や管理している公園に遊びに連れて行ってもらいました。どの公園に行っても顔見知りの人が多くいて、お父さんの子供だと言うと皆さんすごく良くしてくれました。公園で育てているさくらんぼをとって食べたり、池にあるイカダに乗せてもらったりしました。お父さんはいろんな人達と仕事をしているんだなと思いました。

お父さんの口癖は「人から何かをもらったり、何かしていただいたら『ありがとうございます。』と大きな声で言いなさい。」です。公園に行くとよくお菓子をもらいましたが、私はその当時恥ずかしがり屋で小さい声で言うと、もっと元気よくと言われ何回も言わされたこともありました。今では何の抵抗もなく言うことが普通になっています。お父さんの実家に行くと、祖母から「返事がいいね。」とよく言われます。普通なのにと逆に思ってしまう。

お父さんは実家で庭木を剪定したり、畑仕事の手伝いをよくしています。木の剪定は時間がかかる作業ですが、本人が納得するまでやります。お父さんは自分が納得して他人が喜んでもらえる仕事を続けてきたのだなと思いました。前に姉が学校の授業で、花や芝生を勉強した話をお父さんとしていました。その時、お父さんは嬉しそうにいろいろ教えていました。

これからも元気で仕事がんばってください。

## 【13】

題名	僕のお父さんの大切な仕事
本人氏名	矢島 悠晟（やじま ゆうせい）
性別	男
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>僕のお父さんは、日本コムシス株式会社の松本事業所で、長野県の松本・大町・木曾の電話回線と光回線の工事の責任者という大切な仕事をしています。</p> <p>日常的に携帯電話や、インターネットや、電話を使えるようにする工事や、それを維持していく工事などを行っているそうです。</p> <p>今、学校の授業でパソコンでインターネットを使って調べて学習をしています。インターネットが使えるのは、お父さんの会社の人たちのおかげだと思います。</p> <p>お父さんの仕事のことで、僕は忘れられないことがあります。4年前に木曾で土石流による災害があった時に、お父さんたちは、第一陣として現地へ行きました。町の人たちに工事のことをお知らせし、挨拶をしたら、自分が災害にあわれたのに「ごくろうさま」などと声を掛けられ、うれしかった。と言っていました。</p> <p>お父さんは「最初、現地に着いた時、どこが道で、どこが家の有った所か分からなかった。」と言っていました。そんな中、お父さんたちは、周りの作業してくれる人たちと一緒に、復旧工事をたった4日で全て終わらせました。お父さんは「電気・電話・ガス・水道のライフラインはすぐに復旧させなくちゃね。」と言っていました。</p> <p>もう、こんな災害は起きてほしくは無いです。でも、この大切な仕事を健康に気を付けて、安全に続けてほしいです。</p>	

## 【14】

題名	父のヘルメット
本人氏名	村林 京一郎(むらばやし きょういちろう)
性別	男
年齢	9
候補者との続柄	子
<p>僕の父は、世界中の橋を作っています。</p> <p>いろいろな所に行ったりしたときに、父の会社が作った橋がありとてもべんりです。</p> <p>そこに住んでいる人は、その橋がなかったらとてもこまるので、父の会社の仕事は世の中のやくに立っていると思います。</p> <p>3年生の夏休みの宿題で、「家の人の仕事」を調べる宿題があつて、父の会社に行きました。いつも仕事をしているかんり室を見せてもらいましたが、暗くて、狭くて、少しきたなかつたです。そこで父のヘルメットをかぶらせてもらいました。ぼくにはそのヘルメットはぶかぶかでしたが、父にはびつたりで、頭をしっかり守ってくれているのだと思いました。それと、ヘルメットの前に、「むらばやし」と書いてあつて、はずかしくないのかなあ～と思いました。</p> <p>父は橋にペンキを塗る仕事をしていて、とても大きなとそう工場でびっくりしました。工場をかんそうさせるスイッチが4つあつて、休みの日にスイッチを入れに行くことがあります。</p> <p>あいち県や、ちば県や、新がた県に、橋のちょう子を見るために、出ちょうに行きます。</p> <p>橋は高いところにかかっているので、落ちないか心配です。だからぼくは、毎朝かかさず「いってらっしゃい、気を付けて!」と言って、見送っています。もし父がけがをしたら、父は痛いし、ぼくは遊んでもらえなくなるからいやです。</p> <p>これからも、けがをしないように、世の中の人々のやくに立つ橋作りを、がんばってほしいです。</p>	

## 【15】

題名	じいじのトンネル
本人氏名	中川 奏音（なかがわ かなと）
性別	男
年齢	7
候補者との続柄	孫
じいじへ じいじのトンネルが いつかとおってみたい じいじがつくったトンネルが見てみたい かなとより	



## 【16】

題名	トンネルのおしごと、がんばってね
本人氏名	中川 詩（なかがわ うた）
性別	女
年齢	5
候補者との続柄	孫
じいじとんねるのおしごとがんばってね うたより	

## 【17】

題名	私のお父さん
本人氏名	増子 結菜・妃菜（ましこ ゆな・ひな）
性別	女
年齢	12・14
候補者との続柄	子
<p>私たちのお父さんは、新しく建つビルにエレベーターを付けるお仕事をしています。</p> <p>私たちはお父さんが仕事している所を直接目にしたことはありません。でも、一度だけ私服のズボンを忘れたお父さんの現場に届けに行ったことがあります。その時に見た建設中のビルは見上げるほど大きく、卒倒してしまうくらいの高さのあるビルでした。</p> <p>現場を始めて目にした時、いかに危険と隣り合わせの中で仕事をしているのかを知りました。作業着姿のお父さんを見たのもこの時が初めてで、お風呂上がりにお酒を飲んでいるお父さんの姿が強かった私たちには、お仕事のお父さんは自信に満ちていて、誇らしげでとてもかっこよく、尊敬を感謝の気持ちでいっぱいになりました。</p> <p>これからも安全第一で、お仕事を頑張ってほしいと思います。</p>	

## 【18】

題名	お父さんは内装業
本人氏名	横山 陽菜多（よこやま ひなた）
性別	男
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>僕のお父さんは、内装業の仕事をしています。あまり聞いたことのない仕事だと思う人もいると思うけど、僕は、体の筋肉と同じ大切な仕事だと思います。</p> <p>朝5時に起きるお父さんは、僕が起きる時間にはもういません。朝早く起きて夜遅くまで仕事をする姿に、僕は、家族のために休まず働く大きな背中を感じました。だけど、お父さんが帰ってくるとき電話がかかってくる。毎日同じような返答をするけど、それは僕にとって、一日の中で初の会話であり、大切な時間だと思います。</p> <p>また、僕は言いたい事があります。内装業を地味と思う人がいると思います。だけど僕はそう思いません。仕事をしているお父さんは専門用語や今のわからない図面に目を向けていて誰でもできるものではないと思うので、僕はお父さんがカッコイイと思います。</p> <p>僕が将来どうなるろうとも、お父さんの様なカッコイイ大人になりたいです。</p>	

## 【19】

題名	お父さんについて
本人氏名	山中 真依 (やまなか まい)
性別	女
年齢	11
候補者との続柄	子

私はお父さんの行動をいっぱい見えています。工作中や家に帰って来てからも、いろんな事をしていきます。今回は、お父さんの仕事について紹介していきたいと思います。

まず、現場で働いている時のことについてです。前にお父さんの仕事を見に行った時にすごく細かく最後まであきらめずに、作業していました。私はそれを見た時、夏ですごく私も暑かったのに、暑いなど言わずにもくもくと仕事をしていてすごく体力を使う仕事だなと感じました。

次に家に帰って来てからの事務処理についてです。だいたいいつも夜の7時くらいに帰ってきます。その後、少し事務所で働いてご飯などを食べて夜9時くらいから夜おそくまで仕事をしています。何時くらいに寝ているのか分かりませんが朝4時30分くらいに家を出ています。私はお父さんみたいに、朝早くは起きていませんが、すごくこの仕事は大変だと思います。

このように私のお父さんは、すごく大変な仕事をしています。これからも健康に気をつけて、けがをせずに仕事をがんばってください。

## 【20】

題名	将来の夢に向けて
本人氏名	八幡 太晟（やわた たいせい）
性別	男
年齢	14
候補者との続柄	子
<p>ぼくの将来の夢は、お父さんの仕事場に行って、一緒に仕事をする事です。お父さんの仕事は、かべをぬる事です。ぼくが、その仕事にしようとした理由は、その仕事がかっこいいと思ったからです。人のためにその仕事に向かって集中しているお父さんは、とてもかっこいいと思いました。</p> <p>ぼくは、この学校や先生方、そして、サッカーと一緒にやってくれた友達などに感謝することがあります。それは、勉強をする場や、勉強を教えてくれたこと、サッカーを教えてくれたこと、一緒にやってくれたことです。勉強やサッカーをやったことによって集中力が高まって夢に一步近づいたと思えるからです。中学校ではこの集中力をあげられるようがんばりたいです。</p> <p>ぼくには、この夢を選んだ理由がもう一つあります。その理由は、長い時間集中して、時間をかけて作り上げることに達成感を感じるところです。</p> <p>将来の夢に向かって、頑張って努力して一步ずつ近づいて行きたいです。</p> <p>夢に近づいて行くには、高校や専門学校にもいかなきゃ行けないので、勉強やサッカーもがんばりつつ、夢に向かって進んで行き、夢を叶えられたらいいなと思います。</p>	

## 【21】

題名	ぼくのお父さん
本人氏名	松谷 蒼生（まつたに あおい）
性別	男
年齢	9
候補者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんの職業は鉄筋工です。鉄筋は建物や壁や道路の中に組み立てられています。人間の体で言うと骨のような大事な部分だそうです。建物が完成してしまえば外からは見えないけど、見えないところだからこそ丁寧に作らないといけないそうです。お父さんと出かけたときにお父さんが仕事で鉄筋を組み立てた店や病院や学校を教えてください。鉄筋がどんなふうに入っているのか見えないのが残念だけど、お父さんが会社の人達と一生懸命力を合わせて組み立てた鉄筋が入っていると思うとすごいなと思います。</p> <p>平成 29 年 11 月に千葉県で鉄腕グランプリという大会があり、お父さんが山口県の代表選手として出場しました。家族みんなで応援に行き、ぼくは、その時、初めてお父さんが鉄筋を組み立てるところを近くで見ました。太さや長さのちがう鉄筋を時間内に丁寧に組み立てます。いつものお父さんとはちがう人のように見えてぼくもすごく緊張しました。大会にはたくさんの方が出場していました。ぼくのお父さんもその中の一人だと思うと、何だかかっこよく友達に自慢したくなりました。</p> <p>お父さんは休みの日には、ぼくの野球の練習や試合に来てくれます。道具を大事にすることの大切さも教えてくださいました。お父さんに教えてもらって自分でグローブの手入れをします。何事も丁寧ということは、ぼくたちの学校や野球、お父さんの仕事でもとても大切なことなんだと思いました。これからもお父さんにたくさんのことを教えてもらいたいです。</p>	

## 【22】

題名	わたしのお父さん
本人氏名	池本 実愛（いけもと みちか）
性別	女
年齢	9
候補者との続柄	父
<p>わたしのお父さんは、電気工事の仕事をしています。家の電気がつかえなくなったりすると、いつでも直してくれるのでいいです。お父さんが電気工事をしていてよかったと思います。</p> <p>お父さんは物を作ったり、こわれた物を直したりするのも得意なので、すごいと思います。</p> <p>仕事が忙しい時は、休みがなかったり、夜お酒を飲むとすぐに寝てしまう所もあるけれど、時間のある時は一緒に遊んでくれるのでうれしいです。</p> <p>わたしは、そんなお父さんがかっこいいと思います。</p>	

## 【23】

題名	震災で気付かされた父の偉大さ
本人氏名	白間 雄大（しらま ゆうだい）
性別	男
年齢	18
候補者との続柄	子
<p>平成23年3月11日、大規模な地震と津波が、私の住む岩田県宮古市を襲いました。</p> <p>私の住んでいる地域には国道45号線が通っており、重要な道路となっています。しかし、東日本大震災が発生した当時、国道45号線は津波の被害を受け、泥や瓦礫や倒壊した家屋などの障害物によって、緊急車両や自衛隊車両などの救助や物資輸送の車両が通行できない状況でした。その様な中、私の父は仕事を早めに切り上げると、勤めている建設会社から重機を借り、その日の夕方から夜にかけて瓦礫の撤去作業を単独で行いました。震災当時の夜、国道45号線上には瓦礫が残っており、通行は困難だったものの、父が行った作業によって、国道45号線の被災していない箇所と裏の道路がつながり、幸うじて内陸部への通行や、避難所間の往来が可能になりました。私は震災当時の父の行動は素晴らしいと思います。父は震災以前にも自宅周辺の除雪を自ら率先して行っていました。私は、父の行動力や社会へ貢献する姿勢をととても尊敬しています。私も将来、父の様な社会へ貢献でき、自ら率先して行動できる人材になり、自分が育った地域へ恩返しがしたいです。</p>	



## 【24】

題名	僕と私のパパ
本人氏名	大熊 直・莉子（おおくま なお・りこ）
性別	男・女（双子）
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>私達のパパは建設現場でお仕事をしています。お仕事は学校の校庭や公園などを造っています。パパは朝早く出発して夜遅くに帰ってくるので、平日はなかなか会えません。だから日曜日にパパと遊ぶのがとても楽しみです。でも日曜日にたくさん遊んでくれた時は「パパ明日ちゃんと起きれるかな」と少し心配です。</p> <p>私達はパパの造った公園に遊びに行くことがあります。石がきれいに並べられていて、公園の中に川が流れていて、とても好きな公園です。小さい公園だけどたくさんの人が遊びに来ていて、パパの造った公園でみんな喜んでいるのがとてもうれしいです。</p> <p>パパ、私達も学校で勉強をがんばるので、パパもケガをしないようにこれからもお仕事がんばってね。</p>	

## 【25】

題名	あこがれのお父さん
本人氏名	山本 知遼（やまもと ちはる）
性別	男
年齢	11
候補者との続柄	子
<p>僕のお父さんは、建設業で色々な型枠を組んだりコンクリートを流したり、道路を造ったり直したりするお仕事をしています。</p> <p>僕は、小さな頃から、重機が大好きでした。近所で動いている重機を見たり、休みの日にお父さんが、お仕事の現場に連れて行ってくれ、重機をながめるだけでとても楽しかったです。僕が、印象に残っている重機は、とても大きいショベルカーを見せてもらった事です。すごく迫力があり運転席に座らせてもらった時の景色は忘れられません。また、お父さんの仕事をしている姿も、ドロだらけになってスコップを持って仕事していたり、重機に乗って仕事しているのも、とてもカッコ良く見えて、すごいなあと思っていました。</p> <p>そして、お父さんの仕事を毎日「今日はどんなお仕事をしたの？」と聞いたりするのが、楽しみになりました。その話を聞いていて今思う事は、自然災害の復旧や危険な所でのお仕事も多いという事です。雨の日でも雪の日でも毎日早く起きてお仕事に行きます。危険となり合わせなんだと思うようになり、毎日、無事に帰って来てねというのが、「いってらっしゃい」の挨拶になりました。でも、そういう頑張っているお父さんのお仕事は、道路を造ったり直したりして、僕達の生活が便利になったり、安全に過ごせるようになって、人の役に立つお仕事なんだと思うようになりました。お父さんは、一つの現場が終わると、よく、その完成した現場に連れて行ってくれます。たくさんの人達が一生懸命に働いて出来た物には、色々な人の苦労や気持ちがあるんだと教えてくれます。物を作ることは、本当にすごいなあと毎回思います。そういう、人の役に立つお仕事をしてくれているお父さんにぼくは、憧れています。小さな頃は、重機が好きで、重機の運転手になりたいと思っていたけれど、今は、人の役に立てる、お父さんのような建設業のお仕事につきたいと思っています。</p> <p>いつも家族のためにお仕事を頑張ってくれてありがとう。これからも毎日、体に気をつけて、無事に帰って来て下さいね。</p>	

## 【26】

題名	いつも頑張っている祖父
本人氏名	山下 優香 (やました ゆうか)
性別	女
年齢	19
候補者との続柄	孫
<p>私の祖父は、地元の建設会社に勤めており、建設現場で毎日作業員として頑張っている姿を見たいのですが、家に帰ってくる姿を見て、夏は暑い中、泥だらけの作業服で少し夏バテ気味になりながらも明るく「ただいま〜」と帰ってきて、毎日朝早くから仕事へ行き暑い中、力仕事をしてきているのに、家族にあまり疲れた顔を見せず、すごいな！！と思っています。</p> <p>冬は、地元は豪雪地なので除雪車に乗り地元の除雪をしています。除雪は、朝が早く住宅街の狭い場所の除雪もするので、すごい技術が必要だと思います。雪が多い時は、朝早くからお昼くらいまで除雪をしていたり、天候次第では休日の日でも出ます。住人の人が暮らしやすいように、雪を少しでもキレイにとってあげてる祖父。また、除雪後に高齢の人が大変そうにしていたら手伝いに行っている祖父。本当に本当にすごいと思います。</p> <p>同じ仕事を何十年も続けている祖父。それと共に年も重ねていきだんだん体力も減り疲れも溜まると思うけど、家では疲れた顔を一切せず、毎日大好きなお酒を飲んでいい気分になり周りを楽しませてくれます。</p> <p>建設現場で若い人達の手本となりバリバリ働く祖父はとてがかっこいいと思います。だからこれからも、ケガなどせず仕事を頑張ってほしいと思います。</p> <p>私も社会人になったら祖父のように何事にも前向きに一生懸命に働き社会に貢献できる立派な大人になりたいと思います。</p>	

## 【27】

題名	お父さんの仕事
本人氏名	山口 春華（やまぐち はるか）
性別	女
年齢	11
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは、工事の仕事をしています。でも、どんな工事をしているのかよく知りません。そこで、お父さんに聞いてみました。すると、道路の整備工事、下水道工事、川の堤防の工事などを行っていると言っていました。</p> <p>私は以前、テレビで川の水が町に流れ出ているのを見た事があります。とても怖かったです。お父さんは、あんなことにならないように、工事をしているんだと思いました。</p> <p>お父さんは冬には、道路の除雪と、私の通っている小学校の除雪もしています。皆が登校して来るまでに除雪が終わっているので、友達からも先生からもとても感謝されています。私は、とても誇りに思っています。</p> <p>暑い日も、雨の日も、雪の日も大変だけど、これから安全に気をつけて頑張ってもらいたいと思います。</p>	

## 【28】

題名	私のお父さん
本人氏名	木村 茜音（きむら あかね）
性別	女
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんの仕事は、建設現場で各地いろいろなところで働いています。お父さんは、私が起きるころには仕事に出かけ、帰宅は21時を過ぎても帰ってこないこともあります。また、出張に行った時など何ヶ月も帰らない時もありました。私が小さい時は、帰ってこない時など寂しく思いましたが、今では、私たち家族の為に、弱音を吐かず、頑張っているお父さんに感謝しています。</p> <p>同じ年に、私の高校受験とお父さんの一級土木施工管理技士の試験があり、私もお父さんに負けられないようにと、勉強に取り組み第一志望の高校に合格することができ、お父さんも大変喜んでくれました。お父さんの方も、2、3年かけて取得出来たらと言っていたのですが、見事1年目で合格し、一緒に喜び合いました。</p> <p>建設現場では、危険がいっぱいで心配ですが、これからも、お父さんの頑張っているところや優しい所を見習って、私も負けられないように頑張りたいです。</p> <p>最後に、お父さん、いつもありがとう。体に気をつけて、これからも頑張ってください。</p>	

## 【29】

題名	ぼくのお父さんおじいちゃん
本人氏名	岡部 祐歩（おかべ ゆあ）
性別	男
年齢	10
候補者との続柄	孫
<p>ぼくのおじいちゃんは、型枠大工です。普段のおじいちゃんは、やさしくて、かっこよくて、髭が特徴的ですが、仕事になると、普段のおじいちゃんとは違って、真面目でリーダー的な存在です。冬休みに、今、おじいちゃんが建てている渋谷のパルコを見に行きました。すごい大きくて、鉄の棒がたくさんありました。毎日たくさんの方が乗っている電車で通っているおじいちゃんは、大変だと思いました。パルコが完成したらまた見に行きたいと思います。</p> <p>体に気をつけて、これからも仕事をしてもらいたいです。ぼくもおじいちゃんみたいな人になりたいです。</p>	

## 【30】

題名	ぼくから見たお父さんの仕事
本人氏名	福留 颯馬 (ふくどめ そうま)
性別	男
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんは、生田建設で土木関係の仕事をしています。</p> <p>小さかった頃は、いつも黄色い作業服を着て仕事に行くお父さんが、どんな仕事をしているか、良く分からなかったけど、お父さんが横浜の高速道路の建設工事にたずさわった現場を家族みんなで見学に行く機会があった時に、お父さんが造った道路のコンクリート柱を見て、「お父さんはどういう風にこれを完成させたんだろう？」と、疑問に思って聞いて見ると、ぼくが分かるように丁寧に説明してくれました。この前は、自宅のブロック塀を削る機械で、器用にコンクリートを壊した後に、削った場所にセメントを流し込む作業の姿を見て、「こんな感じでいつも仕事しているのかな？普段は、ヘラヘラした顔をしているのに、真面目な顔で作業をしている姿は少しカッコいいなあ。」と思いました。なかなか普段、お父さんの仕事の事を聞く機会がないけれど、いつもお母さんが現場での仕事は危険な事が多くて、たくさんの作業員の人たちをまとめている大変な仕事だと聞いています。いつも作業服を着て、朝早くから仕事に向かうお父さんをぼくは「すごいな」と思っています。</p> <p>これからも、頑張って仕事をして欲しいです。</p>	

## 【31】

題名	父の仕事
本人氏名	磯貝 ひかる (いそがい ひかる)
性別	女
年齢	15
候補者との続柄	子

私が尊敬している父は、責任者の仕事をしています。主にNTTの電話回線ケーブルを地下や電柱に通す作業員の方達に指導・研修をします。また、電話工事等の納期スケジュール確認や調整を行います。なので父の仕事のイメージは学校の先生の様な感じだと思っていました。なぜなら沢山の専門知識や伝達能力が必要な仕事だと思えたからです。

電話工事は高い所や地下でも行われます。そのため毎日朝礼では、安全確認や注意喚起をするそうです。それは、作業員の安全はもちろんの事、第三者の命も守る必要があるからです。一人の油断が大きな事故を生んでしまわない様に日々、指導しているそうです。また、スケジュール管理の重要性は、例えばお客様はインターネットやWi-Fiを使用したくて依頼しているのだから遅れない様に納期をしっかり守って信頼を得なくてはならない所にあるそうです。更に父は、私によく優先順位を考えて計画的に学校の課題をする様に話していたのですが、今回、父の仕事の話を聞き、納得する事が出来ました。

私にはまだ分からない事もありますが、その沢山ある仕事の優先順位を考えながら、一つ一つ丁寧に対応している父は、本当に凄いと思いました。学校生活の中でクラスメイトをまとめる大変さ、ルールを守る大切さは、行事など様々な学びを通して感じます。今後は、高校や大学に行って沢山勉強し、経験していく上で父からの教訓を胸に頑張っていきたいと思います。社会人になった時、近くには尊敬できる良いお手本がいてくれてとても嬉しく心強いです。

最後にこの機会を通して感謝の気持ちを伝えたいと思います。

お父さんいつも有難う御座います。



## 【32】

題名	父の仕事
本人氏名	阿部 芽依 (あべ めい)
性別	女
年齢	16
候補者との続柄	子
<p>幼い頃から父はいつも家にいませんでした。私の父は船に乗っています。船に住み込みで働いているため、お正月、ゴールデンウィーク、お盆くらいしか家に帰ってきません。ですから、私は父が仕事をしている姿を見たことがありませんし、父の仕事は「建設業」ということくらいしかわかっていませんでした。</p> <p>そんなある日、私は父にどんな仕事をしているのか聞いてみました。すると父は、「護岸工事をはじめ、海の建設業をしているんだよ。」と教えてくれました。そのとき私は、父は誰かの安全を守る仕事をしているのだと気付きました。幼い時は「お父さんは何のお仕事をしているの。」と聞かれたら、とても困っていたものですが、今なら胸を張って父の仕事を紹介することができます。なぜなら父の仕事は、とても誇りのある仕事だからです。</p> <p>家に父がいなくて寂しいと思うこともあります。でも、父が一生懸命家族のために働いてくれていのおかげで今の生活があるのだと思うと、感謝の気持ちでいっぱいになり、寂しいだなんて言っていられないと思います。</p> <p>お父さん、いつもありがとう。これからもお体に気をつけて安全第一でお仕事を頑張ってください。</p>	

## 【33】

題名	知らなかった叔父さんのすごい所
本人氏名	木村 颯太（きむら はやた）
性別	男
年齢	18
候補者との続柄	甥
<p>僕の叔父さんは、僕のお父さんの弟で、お父さんの経営している（有）幸建興業を設立する前の、木村工業からの20年以上、土木作業や建設作業に携わっていると聞きました。</p> <p>木村工業の創業時は3人だけだったのが、叔父さんの友達をはじめ後輩や、身内などを叔父さんが勧誘し、今では20人を超える会社になった事を正月に、身内が集まる食事の時に聞きました。僕の知っている叔父さんは、とても優しくお酒を飲むと陽気になって僕をはじめ、他の甥や姪などから気兼ねなく、何でも言え、みんなが甘えて小さい頃は、叔父さんの取り合いでケンカになった事が今では笑い話です。こんな優しい叔父さんの本当のすごい所を知ったのは、2年ほど前に、叔父さんに会社の倉庫の片付けの手伝いを頼まれた時です。朝にお父さんと倉庫に行くと、今まで見た事のない厳しい顔の叔父さんがいました。いつもなら気軽に話ができるのに、少し緊張したのを覚えています。</p> <p>叔父さんは、この時左官の資格を取りに行くため、他の従業員5人と左官の練習をするために、木や発砲スチロールで練習するための架台を作っていました。他の従業員が叔父さんに「ここはどうすればいい」とか、「何を使えばいい」とか、いろいろ聞かれながらもすべて叔父さんが判断していました。この時僕は、叔父さんも初めてやのに何で他の従業員に説明できるのか不思議でお父さんに「なんで叔父さんはあんなに知っているの」と聞いたところ、「以前に左官の資格を持っている人に、事前に説明を聞きに行ったりビデオなどを見て、練習や試験に必要な道具や資材もそろえ、仕事で疲れているのに、そのまま帰宅せず他の従業員に説明できるまで何日もかけて練習して従業員に指導している」との事でした。</p> <p>試験結果は他の従業員も含め全員合格したみたいで、僕も自分のことのようにうれしく思いました。翌年も叔父さんの指導の下、練習していました。子供の頃、叔父さんを甥や姪などで取り合いしたのを、今では従業員に取り合いされているみたいでやっぱり叔父さんは人気者だと確認しました。</p> <p>僕も将来、どんな仕事についても他の人から信頼される人間になりたいと、尊敬する叔父さんを見て思いました。</p>	

## 【34】

題名	わたしから見たお父さん
本人氏名	石澤 由姫音 (いしざわ ゆきね)
性別	女
年齢	8
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは、朝早くから夜おそくまで私達のために働いてくれています。私のお父さんの仕事は、水道屋さんです。</p> <p>水道屋さんは、学校や中学校や高校などの配管を作ったり直したりしていて、とても大変な仕事だと思います。でも、お父さんはとても疲れてるのに、コンビニによって私のためにお菓子や私のほしかった物を買ってきてくれて、とてもありがたいと思います。</p> <p>私はたまに寂しくなります。でもお父さんは、私達のために一生懸命働いてくれているので、しょうがないと思います。私の好きな曜日は、日曜日です。なぜかというと、日曜日は、お父さんのお仕事が休みだからです。お父さんが休みだとお父さんはゆっくりできるし、私はずっとお父さんと過ごせるし、たまに動物園や遊園地などの所に行けるからです。</p> <p>お父さんは、とても頑張っていると思います。私は将来お父さんみたいな立派な大人になりたいです。私は、お父さんの事が世界一好きです。これからも体に気をつけて、お仕事を頑張ってほしいと思います。</p>	